

巻頭言



教職員の年齢構成

所長 田中 尚  
Hisashi TANAKA

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお  
願い申し上げます。

80年代はいろいろ問題の多い時代の始まりである  
と言われておるようですが、その中の1つに高齢化社会の  
問題があります。生研の教職員には、学内の申し合せに  
よる停年制度がありますから、高齢者が増えることは考  
えられませんが、教職員の年齢構成は生研の研究活動に  
影響するところが少なくないと考えられます。今回はこ  
の点を少々分析して見ましょう。

図1は全教職員の年齢構成を示す柱状図です。41~45  
歳のところに、くぼみが見られるが、下ふくらみの形を  
しています。25歳以下の人が少ないのは定員削減の影  
響を示していると思われる。

技官と事務官の年齢構成を示したのが図2です。技官  
の方は、この図からのみ見ると問題はなさそうな感じ  
ですが、事務官の方には、51~55歳に山が、41~45歳  
に谷があります。この山と谷には将来問題が有りそうな  
感じですが。

図3は研究部の教職員の年齢構成図です。左側を見  
ますと、56~60歳と36~40歳に2つの山を持ってい  
ます。図の白い山は数年の内に無くなりますから、教授・  
助教授・講師については、若い時代が来ることが予測  
されます。助手・技官・事務官については少しくぼみは  
ありますが、若い人が多く、この図から見ると健全そう  
に見えますが、問題は研究部が、教授または助教授を長  
とする研究室から構成されていることにあるようです。

88の研究室について見ますと、研究室員が一人も居  
ない研究室が6、1名の研究室が16、助手の居ない研  
究室が24、技官または事務官の居ない研究室が17あり  
ます。また年長の研究室員を2名抱えている研究室が3、  
1名のところが17有ります。

このように細かく見ますと、問題は有りそうです。人  
事管理や研究組織上何等かの工夫が要求されているよ  
うです。

以上巻頭言らしくないとは思いましたが、実情を述べ  
ました。ご助言を期待申し上げます。

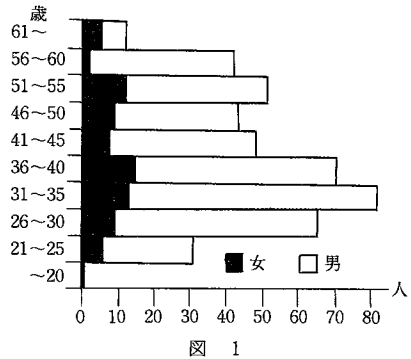


図 1

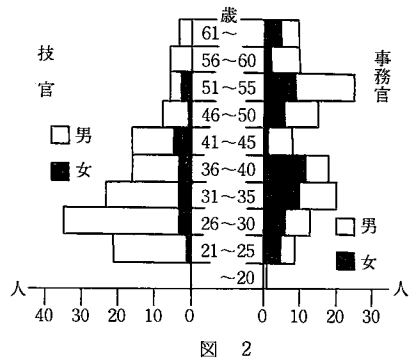


図 2

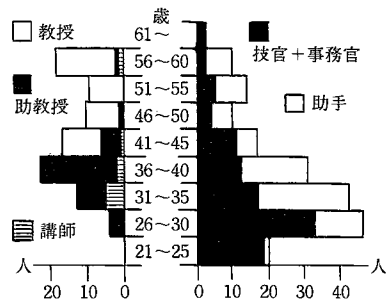


図 3